

中国でびっくり!

昨年12月に急遽岐阜市の姉妹都市、浙江省都杭州市に行くことになりました。何の会議かもよく分からず行ったのですが、杭州についてまず驚いたのがその街のスケールの大きさでした。

岐阜市の人口は約41万人、杭州は1000万人で東京に迫る人口数、岐阜市の25倍近く、名古屋市の5倍あります。

建物も大きく大阪、東京並み、よく岐阜市のような小さな街と姉妹都市でいてくれると恐縮しますが、杭州にとっては一番最初の姉妹都市だそうで大事にしてくれているようです。

杭州での滞在はずっとホテルに2日間籠り、ホテル内の会場で人工知能AIとスマートシティの説明や実例等の報告を聞くことでした。

参加者は北欧、ヨーロッパ、アジア、アフリカ、オーストラリアなど多岐にわたり、英語と中国語のみでした。日本はもう眼中にない気配です。

また3日目には実際にスマートシティの視察に出かけました。

広い敷地に大きな建物。中国のシリコンバレーの1コマといった感じです。

それまでは中国についてあまり関心はありませんでした。ニュースなどで見る中国は爆買いや観光客のマナーの悪さでしたし、取り上げられることもあまりいいことでは紹介されていませんでした。

私も環境に関するNPOの事務局をしているので、20年以上前から環境問題で中国の発展の影の環境汚染についてひどいものがあることを聞いていましたし、あまりいい印象を持っていませんでした。

でも実際現地へ行ってみると歴史の深い杭州はもの凄い発展をしていました。

アリババや雲(クラウド)のある地域に行くとそのパワーは桁違いだということを実感しました。アメリカが脅威に思うのは当然だと感じました。

私もユネスコ活動でインドやカンボジア、また国内の被災地などいろいろ訪問していますが、いつも思うのは行ってみないと分からない、ということです。

百聞は一見に如かずと言いますが百見は一験に如かずだなどと思います。(これは私の造語です。)

以前眠れる獅子と言われた中国、目覚めた獅子はどんな動きをしていくのかも遅いかもかもしれませんが、これからは関心を持ち、注視したいと思っています。

